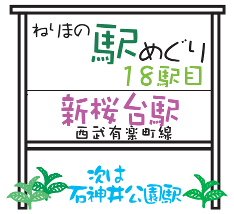


江古田駅や桜台駅にもほど近い新桜台駅エリア。武蔵野音楽大学周辺には音楽関係者が多く住み、街には文化の香りが漂います

相互乗入れでさらに便利に

環七通りを挟んだ住宅街に、西武有楽町線の新桜台駅が開業したのは昭和58年。開業当初小竹向原～新桜台間は単線運転で、西武池袋線と接続するまでは終着駅となっていました。その後、練馬駅と接続、平成10年には新桜台～練馬間が複線化され、念願の西武池袋線との相互乗入れを開始しました。

都心へのアクセスも一段と便利になり、今では人々の大切な交通ラインとなっています。

▲緑の木陰が涼しい駅出入口付近

路傍の石仏に手をあわせ

環七通り沿いの住宅街の四差路には古い祠が建っており、中には別名北向地蔵と呼ばれる**放光王地蔵尊**❶が祀られています。

この辺りは、かつて練馬と板橋を結ぶ街道辻で、路傍に佇む地蔵は、道行く人々の道しるべとして親しまれたそうです。

村から街へと時代の変貌を静かに見つめてきた地蔵は、今も穏やかなまなざしでこの街を見守り続けています。

●放光王地蔵尊（羽沢２－２）

▲地蔵を祀る祠は地元有志が寄贈したものという

昭和モダン建築の粋を集めて

羽沢一丁目の住宅街に建つ**青柳家住宅主屋**❷は、平成16年11月に区内で初めての国登録有形文化財となりました。

関東大震災後に私鉄沿線の郊外住宅地として開発されたこの辺りは、武蔵野音楽大学の羽沢移転に伴い、多くの教職員が周辺に移り住みました。青柳家もそうした住宅の一つで、昭和3年（一九二八）に建築された建物は、昭和初期の郊外住宅としては改造も少なく、旧帝国ホテルや自由学園明日館を設計したフランク・ロイド・ライトの建築意匠を取り入れた歴史的にも貴重な洋風建築となっています。

木造平屋建、スペイン瓦葺の建物は、軒周りやガラス装飾のある玄関周り、正面外観は低い破風屋根を二枚にして全体を軽くみせるなど、水平線を強調したライト風意匠の設計が特徴です。内部は中央に玄関、東側に洋風の応接間、南側に和室や台所などを配した簡明な間取りとなっており、古き良き昭和モダン建築の趣を漂わせています。

●青柳家住宅主屋（羽沢1-6-12）
◆新桜台駅下車徒歩３分◆非公開

親子2代にわたりお住まいの青柳善美さんによると、「この家は、私の父が金沢清氏に設計を依頼したもの。当時としては斬新なデザインの家だったようです。登録文化財へのきっかけは、建築家の姪の薦めがあったから」だそうです。

「外壁などは改修していますが、玄関周りは当時のまま。築76年も経つと、内部も随分傷んできたのですが、今は修復できる職人が少なく困っています」と、文化財ゆえの保存の苦労も。

▲モザイクガラスがモダンな玄関

「機能的でなかったり、使いづらい面もあるけれど、新建築にはない温かみがあります。良いものは長く大切に使って、次世代へ伝えていきたいですね」と語る青柳さんの言葉から、家を愛する想いが伝わってきます。

現在も住まいとして使用されているため内部は非公開ですが、道路から建物の外観を見ることができます。近代建築の粋を集めた建物は、今も住宅地の一角で落着いた佇まいを見せています。

▲「この建物は貴重な国民的財産です」と刻まれた登録プレートを手にする青柳善美さん

▲床の間付和洋折衷の応接間は音響効果もよく、室内楽の練習に使われるそうです

楽器博物館で世界の楽器めぐり

青柳家をあとにして、武蔵野音楽大学江古田キャンパスを訪れました。キャンパス内には、東洋最大の楽器コレクションといわれる**武蔵野音楽大学楽器博物館**❸が併設されています。

楽器博物館は、昭和28年から教育・研究の目的で収集した楽器や資料を展示・保管する楽器陳列室が始まりです。その後、邦楽楽器コレクションの寄贈を契機に、昭和42年に楽器博物館として開館されました。現在、江古田・入間・多摩キャンパスの各館を併せて収蔵数は5000点を超えます。これらの資料は広く社会に還元していく目的から、週1回一般公開されています。

▶1階の鍵盤楽器展示室

▶2階の管弦楽器展示室

▶3階の民族楽器展示室（アジア）

●武蔵野音楽大学楽器博物館（羽沢1-13-1）
◆新桜台駅下車徒歩5分
◆開館時間/水曜日（大学休暇中を除く）
10時～15時◆入館料/無料◆団体見学の場合は要予約◆問合せ ☎（3992）1410

博物館の守重信郎さんの案内で、さまざまなジャンルの楽器が分類・展示された館内を見学しました。1階はピアノを中心に100台を超す鍵盤楽器が並び、フロア全体がまるでピアノの歴史そのものです。学生に人気のクララ・シューマン愛用のピアノやモーツァルトの携帯ピアノなど、歴史的にも有名な音楽家達の楽器が数多く展示されています。中でも、ヴィクトリア女王がナポレオン三世の結婚祝いに贈呈したという「ナポレオン帽子型ピアノ」は、楽器というよりまさに芸術品です。

2階には所蔵第1号となったヴィオラ・ダモーレや世界的コレクションといわれる木管楽器など、ヨーロッパの管弦楽器を展示。3階は世界各国の伝統楽器や珍しい民族楽器が並びます。

▲豪華な彫刻がフランス王朝の華やかさを彷彿させるナポレオン帽子型ピアノ

守重さんによると、こうした楽器は展示するだけでなく、大学の授業や演奏会でも使われており、「名器を弾くことにより、当時の作曲家の意図を知ることに役立っている」そうです。「管弦楽器から民族楽器まで、幅広い収集が楽器博物館の特徴となっています。また、世界各国の楽器の管理は大変で、特に展示室の湿度調節には気をつけています」。古今東西の楽器が並ぶ館内を巡れば、世界一周音楽の旅の気分を味わえます。

事前に予約すれば公開日以外でも入館でき、博物館スタッフによる解説や楽器の音色も聞くことができます。入館料が無料なのも嬉しいこと。音楽とは縁のない方でも充分楽しめるので、是非一度訪れてみてはいかがですか。

INFORMATION

今年も「ねりコレ」大募集！
練馬区にちなんだ商品

区内で販売されている、練馬区の地名、歴史、伝説、風物などにちなんだアイデアあふれる商品を募集します。現在64品が「ねりコレ」に決定しており、今年で3回目の募集になります。区内にはまだ多くの練馬区にちなんだ商品があると思います。皆さまがお気に入りの商品をぜひご推薦ください。

※詳細は商工観光課までお問い合わせください。

「ねりコレ」とは、「ねりまコレクション」「ねりまと言えばコレ」を略したもので、区民の皆さまの応募により決定しました。

「ねりコレ」は・・・
にぎわいづくりによる地域経済の活性化と、愛着と誇りの持てるふるさとづくりをめざす観光振興の取り組みの一つとして行っています。

昨年までの「ねりコレ」は・・・
決定した64品を紹介した冊子は、区民情報ひろば（区役所本庁舎2階）、商工観光課（同9階）で配布しています。また、区ホームページでもご覧になれます。

「ねりコレ」決定後は・・・
10月に発表し、案内パンフレットや区ホームページなどで区内外に紹介していきます。

募集する商品は・・・
次の条件1・2を満たす商品です。
条件1　練馬区内で新品で販売されている商品。
条件2　どのような点がちなんでいるかを説明できる、次の①～④にあてはまる商品。
①練馬区の今昔の地名にちなんだ商品
②練馬区の歴史や伝説にちなんだ商品
③練馬区の風物にちなんだ商品
④練馬区ゆかりの著名人にちなんだ商品
※ただし書籍、映像、音楽、絵画を除く

商品の推薦方法は・・・
左の内容をご記入いただき、ハガキ、ファクスで送付していただくか、区ホームページにある「ねりコレ」推薦入力欄に書き込んで送信してください。

記入内容
①商品名
②推薦理由（どのような点がちなんでいるのか）
③販売店名
④販売店の所在地
⑤販売店の電話番号
⑥推薦者の住まい（区内外の別）

ハガキ・ファクスのあて先
練馬区商工観光課（区役所本庁舎9階）
〒176-8501
練馬区豊玉北6－12－1
Fax (5984)1211

区ホームページ
http://www.city.nerima.tokyo.jp/

問合せ ☎ (3993)1111(代)

募集期間6月1日～30日(必着)

建築無料相談のご案内

専門の建築士が、お住まいに関する様々なご相談（新築・改築、苦情、工事業者とのトラブル、公的融資や耐震診断に関することなど）に無料でお応えします。どうぞお気軽にご活用下さい。

社団法人東京都建築士事務所協会・練馬支部
☎・FAX（3920）9901

次回　6月27日(月)
次々回　7月25日(月)
会場　練馬区役所 本庁舎１階 臨時窓口

街路灯の明るさアップで安全なまちに
～街路灯照度アップ事業～

ねりまのまちづくりの今

練馬区では、平成16年度より３年間で、区道に設置されている街路灯を大幅に明るいタイプにかえる工事を行っています。いま、街路灯の照度（明るさ）をあげることはなぜ必要なのか、「街路灯照度アップ事業」について担当者に聞きました。

Question 1
なぜ街路灯の明るさをあげるの？

Ans.　区では安全・安心まちづくりの一環として、夜間の交通安全や防犯のために街路灯の照度を高めることにしました。

このことにより、4m程度離れた所から人の行動を視認でき、犯罪や事故の防止につながることが期待されます。

Question 2
今回の事業の内容はどのようになっているの？

Ans.　今回の事業で照度アップをおこなう街路灯は、道路幅が3.5mから6mまでの区道にある、20ワットもしくは40ワットの蛍光街路灯です。

対象となるのは、6510基で3年間の事業期間により、順次取り替えていく予定です。

照度アップの効果と影響

防犯　16年度の区内のひったくり件数が減少しています

省エネ　水銀灯に比べて消費電力が約半分になります

見やすい　自然色に近く、物や色の見やすさがアップ

住宅の中に光が入りすぎるとの苦情もありますが、身近な場所での犯罪防止にご理解とご協力をお願いします

照度アップ事業あらかると

蛍光灯42ワットツインタイプ
新しく設置する街路灯は、水銀灯80ワットに匹敵する明るさで、消費電力の少ないタイプです。

夜の明るさ
平均照度がいままでの１ルクスから３ルクスに高められ、夜間でも人の行動が確認できる明るさになりました。

平成16年度の実績
初年度は予定されていた2170基を上回り、約2600基の工事を完了しました。

担当　練馬区土木部維持課街路灯係　☎(3993)1111(代)

編集後記

まちあるき特集の下見に出かけたのは４月上旬の、ちょうど桜やカタクリの花が満開の頃。まだ木々が芽吹かないので、花の美しさがとても際立っていました。

それがたった２週間で、新緑の美しい森に早変わり。まぶしい緑の中に、可愛らしい花が彩を添えていました。自然は、足を運ぶごとに、私たちを楽しませてくれるものなのですね。

日々変化する自然を楽しめるのも、身近にあればこそ。区内に残された自然に感謝しつつ、守り続けていかなければいけないものだと改めて思いました。

みなさんも、お気に入りの憩いの森を見つけて、何度も足を運んでみてはいかがですか。

広告募集
掲載料
◆４面１コマ
縦42ミリ×横80ミリ
◆15,750円（消費税込）
広告料等詳細については、(財)練馬区都市整備公社 こもれび編集室までお問い合わせ下さい。
☎ 3993－8011

専門研究員の気ままなコラム

この4月から都市整備公社で、みなさんのみどりづくり、まちづくりのお手伝いをしています。ご質問等がありましたら、ぜひお寄せください。

まちづくり　まちづくりの「ま」
・・まちを歩いてみよう①

身近にある緑を残したいな。安心して暮らせるまちがいいな。にぎわいのあるまちがいいな。私たちのまちがもっともっといいまちになればいいなぁ。そんな身近なまちへの思いを形にする活動が「まちづくり」です。

とはいっても、「まちづくり」って何からはじめたらいいの？ そんな「まちづくり」の第一歩、「まちづくりの『ま』」を紹介していきたいと思います。

まずはまちを歩いてみましょう！「まちあるき」はまちづくりの第一歩です。まちづくりにおける「まちあるき」のポイントは次の３つです。

■なじみのあるまちをあらためてじっくりと歩いてみよう・・
これまで気づかなかったまちのお宝や課題を発見できるでしょう。

■いろんな人と一緒に歩いてみよう・・
同じまちを歩いても、感じることや見ていることが異なることに気づくでしょう。

■歩いて感じたことや気がついたことを記録に残してみよう・・
まちで発見したことを多くの人に知ってもらうことができるでしょう。

＊　＊

さて実際にまちに出たくなったところで歩き方はまた次回に。

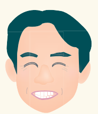
杉崎和久
都市整備公社
専門研究員
（まちづくり担当）

みどり　樹木の防火力～その１～

関東大震災（1923年）では14万余とも10万余人ともいわれる方が亡くなりました。そのほとんどが焼死です。なかでも陸軍被服廠跡（現在の横網町公園：墨田区）はすさまじい惨状だったと伝えられています。当時、東京市が公園化を進めていた陸軍被服廠跡は約2haの平坦地で、迫り来る大火炎を防ぐ術なく、避難した約3万8千人の市民が焼け死にました。『旋風ノ起ツタ時ノ音ハ實ニ物凄ク・・場内ノ人ハ場ノ中央ヲ目掛ケテ集マリ、泣叫ブ聲ハマルデ猿ヲイジメタ時ノ泣聲ノヤウデ悲惨ナモノデ・・一時間余リデ静カニナツテ了ツタ。～震災予防調査会報告第百号（大正14年）より』

その一方で、ほぼ同じ面積の旧岩崎邸庭園（台東区）は周囲を高い木立に囲まれ、大火炎に曝されながらも約1万とも2万人ともいわれる人々が難を逃れました。『建築物は焼失せるも庭内の中央部は火焔の襲来を免れ青々たる樹林残存し2萬人許の人命を保護し得たり：池中の島中にあるクロマツは其葉先變色して恢復の見込なきもの少からず即ち以て火勢の旺盛なりしを想像するを得べし：周圍は土塀及シヒノキの植込を以て包圍せられたることは見免す可らざる事項なり。～土木学会誌（大正13年）より』

練馬区内で横網町公園や旧岩崎邸庭園と同じ広さを持つ公園・緑地は、びくに公園、立野公園、稲荷山憩いの森などで、これに次ぐ学田公園、大泉公園、大泉橋戸公園などはその約半分の面積でしかありません。建物の不燃化が進んでいるとは言え、現在の家屋の密集度は当時の比ではないことから、落ち葉や日照、防犯等日常的な課題を乗り越えながら防火対策を進めたいものです。



岩崎哲也
都市整備公社
専門研究員
（みどり担当）

インプラント（人工歯根）専門研究所併設
●日曜診療＊夜間診療●
（平日は夜9:00まで日曜は午後2:00まで診療）忙しい方にも対応しております。

診療時間

時間＼曜日	日	月	火	水	木	金	土
10:00～14:00	○	○	○	休診	○	○	○
16:00～21:00	休診	○	○	休診	○	○	○

休診日＊水曜日・祝日
◆院長プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部卒業・インプラント科・補綴科・義歯外来出身
◆副院長プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部卒業・保存科・ムシ歯外来出身
◆矯正医プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部矯正科出身・矯正指導医・認定医
吉田デンタルオフィス
東京医科歯科大学附属病院提携歯科医院
＊一般歯科＊矯正＊口腔外科＊インプラント＊入れ歯＊ホワイトニング相談＊
各種保険取扱い　Tel.03-3992-8888
練馬区豊玉北6-3-7USビル2F ＊練馬区役所ソバ＊

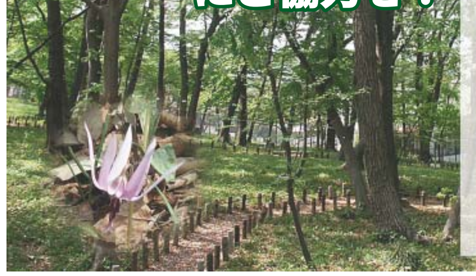
練馬みどりの葉っぴい基金にご協力を！

練馬区では昨年10月、「練馬みどりの葉っぴい基金」という、練馬のみどりのための基金をつくりました。

憩いの森などの民有地のみどりの保全や、みどりにかかわる活動の支援などに活用していきます。

練馬のみどりを私たちみんなで守り育てていくためにも、ぜひご協力ください。

募金箱は、花とみどりの相談所（光が丘５－２－６）・牧野記念庭園（東大泉６－３４－４）・公園緑地課（区役所本庁舎13階）・都市整備公社（区役所東庁舎６階）に常設しています。
６月１日～30日までは、区役所本庁舎１階受付や各出張所で募金することもできます。



問合せ　練馬区公園緑地課
みどりを育む基金主査
☎ (3993)1111(代)